

6月22日(月)

心に満ちていることを口が話す

聖書朗読 マタイ 12:33~37

木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木のよしあしはその実によって知られるからです。 マタイ 12:33

自然界では、実によってその木は識別されます。私たちも同じです。パリサイ人の心は偽善と腐敗で満ちていました、イエス様はご自身が良い木なのか、または悪いのかとあえて彼らに問いました。そして、イエス様はご自身が良い木であることを示されました。

心は、精神、感情そして人格の基盤です。ソロモンは言います。『いのちの泉はこれ(心)からわく。』(箴言 4:23)

イエス様は『人は、心に満ちていることを口が話すのです。』(マタイ 12:35)とおっしゃっておられます。良い人の話すことはよい言葉——忠告、励まし、義についての教え——です。

悪い者もまた心に満ちていることを口が話しますが、その言葉は悪いものです。イエス様はいくつかの悪い人の口から出た言葉、そして行いをあげています。悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしり、です。(マタイ 15:19)。人は自分の言ったことに責任があります。口から出た言葉は、罪とならないものもあれば、非難を受けるものもあります。

イエス・キリストを信じる者として、キリストの良い言葉で心を満たしましょう！キリストの愛を私たちの心に溢れさせましょう！その溢れたものはすべてキリストから来たものです。

讃美歌 321

祈り お父様。あなた様を愛する人、思いやりのある言葉であなた様への愛を示す人となりますよう私をお導きください。人を励ます人となれますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

エディ・C・ルイス

ミシシッピ州 オリーブブランチ

今日の力

2015年6月22日～6月28日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月23日(火)

小さな子どものように

聖書朗読 マタイ 18:1~10

まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。 マタイ 18:3

先週末、私の3歳の孫は母親のフェイスブックにリンクされている友達のフェイスブックを開いて、彼らの誕生日パーティやピクニックの写真を見ていました。ある一つの写真で孫の手が止まりました。それは頭に大きな絆創膏が貼られた赤ちゃんの写真でした。その赤ちゃんは重篤な状態であると記されており、写真からその状態はよく伝わってきました。孫は言いました。「ママ、この子怪我してる」。ママは答えました。「そうね、かわいそうね」。そして孫は言いました。「ママ、この赤ちゃんを助けてってイエス様に言ってくれる？」これにママはこう言いました。「もちろん。二人で一緒にお願いしましょう」。そして、孫はその小さな手を赤ちゃんの写真の上におき、赤ちゃんとお母さんのお母さんのために祈りました。

感動の光景でした。字もまだ読めない小さな子が、誰かに教えられたわけでもないのに何をするかを知っていました。この小さな心は赤ちゃんに心を寄せ、イエス様が赤ちゃんの元へ行き癒してくれることを望みました。これはすごいことです。

小さい子どものようになり、助けを必要としている人のために、あわれみを示してください。人生の主祈りましょう。

讃美歌 第二編 26

祈り 主よ。あなた様のあわれみと救いの手に感謝いたします。私は、あなた様の御力と知恵を信じます。あなた様をもっと信じることができるように、子どものような心を持つことができるようにしてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

グレッグ・アンソニー

フロリダ州 ジャクソンビル

6月24日(水)

白いタオルを振る

聖書朗読 マタイ 25:34~45

あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしたちにしたのです。 マタイ 25:40

高速道路を目指してモハーベ砂漠を横断していたとき、砂漠の温度は45度になっていました。仕事のことで頭がいっぱいの上、制限速度120キロで走っていたので、あやうく見落とすところでしたが、年老いた夫婦が路肩に止めた古い車の中にいるのに気がつきました。男性の方は、一生懸命白いタオルを振っていました。その夫婦の車はパンクしていました。

二人に起きた出来事はゾットするようものでした。85歳の夫と妻は、ガン専門医を訪ねて、家に帰る途中、車がパンクし、しかも彼らは携帯電話も水も持っていませんでした。この二人は、恐ろしく暑い砂漠の真ん中で足止めされ、助けを求めるたった一枚の白いタオルしか持たず、生命の危機に瀕した窮地に立たされていたのです。

イエス様は、命が脅かされた中、白いタオルを振って、通りすぎる人に必死に助けを求めている人々に会いました。姦淫の女(ヨハネ8章)、長血をわずらった女(ルカ8章)、十字架に掛けられている罪人(ルカ23章)。イエス様が最初に考えられたのは、彼らを神の形に造られた人々として、彼ら一人ひとりを見ることでした。そして、イエス様は彼らを助けるために立ち止まりました。

今週、文字通り、または比喩的に白いタオルを振りながら私たちの行く手を横切っている人がいるかもしれません。その時、イエス様が行ったことを思い出して、イエス様の手となり足となりましょう。

讃美歌 第二編 169

祈り 全能なるお父様。忙しすぎて白いタオルを振っている人々を見落としてしまっていることをお許してください。お父様のように忍耐強く、惜しみなく、力強く、愛を持って助けを必要としている人々に仕えることができるよう、私をスローダウンさせてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

アンディ・ペイカー

テネシー州 フランクリン

6月25日(木)

断食の力

聖書朗読 マタイ 2:18~22

十日の終わりにになると、彼らの顔色は、王の食べるごちそうを食べているどの少年よりも良く、からだも肥えていた。
ダニエル書 1:15

教会の愛賛会の最中に断食の話題があがることはあまりありません。でも、聖書でどれくらい断食について、特に厳しい状況の中で断食して祈っている人々について語られているかを調べてみるのは興味深いことです。王に会う前に、エステル王妃と侍女達はモルデカイと一緒に断食を行いました(エステル記4:16)。ネヘミヤは、アルタシャスタ王に会いに行く前の数日の間、断食してから神の前に祈りました(ネヘミヤ記1:4)。イエス様は荒野で断食をし、悪魔の試みをお受けになられました。断食は献身と集中の表れです。つまり、断食をすることで戦いのために心を備え、強い意志を生み出すことができるのです。

私達は、神への真剣な気持ちを表すために、断食で新年を過ごすようにしています。食事を用意して、それを頂く。そして次の食事のことを考える。この習慣を壊すのは簡単なことではありません。しかし、断食をしてみると、そんなことは大したことではないように思えるようになります。食事をする時間を、聖書を読み、賛美し、祈りの時間にあてるのです。断食は誰かに見せるために行うものではありません。断食は神にのみ向けて行うものです。断食することで私達の心と胃は整えられるのです。

今日、神の御言葉と御心に心を注ぐとき、神に意識を集中させてくれる全て、使徒達のこと、暗唱聖句、引用句、お話、に感謝いたします。なぜなら、神の真理、神の道は私達の命なのですから。

讃美歌 316

祈り お父様は熱心な祈り、断食によってあなた様により近づく方法を教えてください。あなた様に近づきたいと願うとき、どうか私を祝福してください。私達はあなた様の子どもと呼ばれる祝福を受けています。
イエス様の御名によって。アーメン。

マーク&ブレンダ・ヤング
ワシントン州 カマス

6月26日(金)

夜明けの静けさの中で

聖書朗読 マタイ 26:36~46

イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。
マルコ 1:35

毎朝会社に向かう車の中で、私は地球が目覚める瞬間を見る幸運に恵まれます。最近美しい日の出を見ることができます。柔らかく輝く光で覆われた灰色がかった雲のまわりに輝く太陽の光線に私は驚かされます。空にさがりきるまで、太陽は地平線の上をゆっくり上がっていく大きな球体のように見えます。そして空が柔らかい朝の光で洗われ、パステルの水彩絵の具で彩られた朝がそこにあります。

イエス様が祈りに出て行行った光景はこのような朝だったのではと私は想像します。聖書では、イエス様はたびたび朝早くに祈りのために寂しい所へ出て行かれたと語られています。夜明けの静けさの中、イエス様は群集に邪魔されることはありませんでした。イエス様は全神経を御国のお父様に向けました。全てが寝静まっている中、イエス様は祈りました。

あなたは祈りのための特別な時間、特別な場所を持っているでしょうか？ もし持っていないのなら、少し時間をとって、イエス様から学びましょう。誰もいない場所を見つけ、誰にも邪魔されることなく神様に話しかけることができる時間を作りましょう。そうすれば、あなたは魂がリフレッシュされていくのを知るでしょう。神との交わりを持つことで、この先何が起ころうとも耐えられる強さをあなたは与えられるのです。

讃美歌 第二編 161

祈り 親愛なる主。静かで人から離れた祈りの中、あなた様に近づき、そしてあなた様の安らぎと愛を受け取る場を見つける大切さをイエス様から学ぶことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

シェリル・ベイカー
インディアナ州 ラポート

6月27日(土)

団 結 し て 立 ち 上 が ろ う

聖書朗読 マルコ 3：20～30

三つの抛り糸は簡単には切れない。

伝道者の書 4:12

アブラハム・リンカーンは、政治演説の際、人の心を捉える言葉選びの才能がありました。リンカーンはバイブルより他に良い本などないことを知っていました。「家が内輪もめしたら、家は立ち行かきません」。リンカーンはこの言葉を使って、南北戦争が始まる直前にアメリカの分断に意義を唱えました。北軍と南軍は求める自己利益があまりに違いすぎたため、国を良くするという目標に向かって互いの力を合わせるという選択肢には辿り着けませんでした。

イエス様もまた「家が内輪もめしたら、家は立ち行きません」のたとえ話を使われました。イエス様は悪霊どものかしらによって、悪霊どもを追い出していると非難されていましたが、イエス様には、これは馬鹿げて聞こえたにちがいません。

聖書の中で使われている「家」とは、家庭もしくは家族を意味すると思います。皆が同じ目標に向けて力を合わせる家族は、決してゆるぎません。子どもを養うために奮闘する親、お互いに大切なものを支えるために努力をする家族は立ち上がります。時に困難が家族を団結させます。私の家族がテネシーからカリフォルニアに引越しをしたとき、家族が団結して新しい土地に慣れることで、私たちはさらに強くなりました。お互いが必要としているとき、団結が生まれます。一人では何もできません。

讚美歌 403

祈り　ご在天のお父様。私たちにお互いを与えてくださり心から感謝いたします。
あなた様を信じる気持ち、あなた様への愛で私たちが一つとなれますよう私
たちをお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

メアリー・エステス

カリフォルニア州 サンザンドオークス

6月28日(日)

壊れたものを直す

聖書朗読 マルコ 8：22～26

それから、イエスはもう一度彼の両眼に両手を当てられた。そして、彼が見つめていると、すっかり直り、すべてのものがはっきり見えるようになった。

マルコ 8:25

子どものころ、うっかり自分の電車のおもちゃを床にたたき落としてしまい、おもちゃを壊してしまったことがあります。私はおもちゃを拾い上げ、父の元に行きました。私の父は何でも直すことができたからです。

私たちは何が壊れてしまっているか（何が問題なのか）よくわかっています。それは、自分の財産、健康、家族、我が国、そして時には教会でさえも壊れてしまうときがあります。私たちには、これらの壊れてしまったものを直すことができる人が必要です。

聖書の中では、盲人は壊れたものの象徴でした。マルコの福音書のみで語られているベツサイダの盲人の話は壊れたものを直す難しさを示しています。イエス様はその盲人の目を治され、その盲人は『すべてのものがはっきり見える』ようになりました。マルコの福音書では、イエス様を、自然の力、病気、霊的なもの全てに対して影響力を持つ者として描いています。イエス様は嵐を静めました。イエス様は盲人の目を治されました。イエス様は迷い人に道を示されました。

私たちの世界が壊れていることはわかっています。本当に多くのものが私に壊れたおもちゃやベツサイダの盲人を思い出させます。でも幸いなことに、私たちには全てを直すことのできるイエス様がおられます。

讚美歌 第二編 161

祈り 親愛なる主。私たちは壊れた世界に住んでいます。自分では直すことができないことを直してくださるイエス様をお送りくださり、心から感謝いたします。

ハロルド・シヤンク

ウエストバージニア州 ビエナ